

議会だより

■発行
大刀洗町議会
■編集
議会報発行特別委員会

〒830-1298 福岡県三井郡大刀洗町大字富多819

TEL (0942) 77-4112



山隈 老松宮のよど風景

議案・意見書 P 2

一般質問 P 4

町民の声 P 8

6月議会

商工会の商品券に補助

プレミアム分を420万円

補正予算

一般会計

4153万円を追加し、総額51億8178万円とする。

○プレミアムつき商品券への補助

420万円

発行総額は6000万円分、それにプレミアム分を1割上乘せし、そのうち7割を町の会計から補助する。

商工会会員の店、および非会員でも有料で登録



町内にも商品券のノボリ旗が

すれば取り扱い対象となる。大手のスーパーなどは使用制限がある。

○地域づくり推進協議会 設立準備金

160万円

住民主体の町づくりにむけて、各校区の協議会(仮称)に対して40万円を補助する。

○小中学校特別講座事業 委託料

252万円

夏休み・冬休み期間を

利用した小学校高学年・中学生向けの特別講座を開催する。

○社会資本整備総合交付金事業

1700万円

国の補助事業で、防犯灯の整備14ヶ所など。

国民健康保険会計

473万円を減額し、総額を16億8532万円とする。

減額の主なものは医療費の見込み減によるもの。

犬刀洗診療所会計

30万円を増額し、総額1億1009万円とする。増額の主なものは看護師の臨時雇用によるもの。

補正予算はいずれも全会一致で可決した。

条例の改正

勤労者体育センターのシャワー利用料

シャワー室を改修し、コインタイマー式に改めたので3分100円を徴収する。

町職員の勤務関係

育児休暇、代休、時間外勤務の勤務条件の変更などについて3点の条例改正が提案された。

いずれも全会一致で可決。



コインタイマーが設置された

人事



人権擁護委員の推薦

福村 千代美氏(新任)

任期は3年間。

全会一致で可決。

議場の傍聴席を改修

「傍聴席の位置が悪く、議場が良く見えない」との声を多くいただきましたので、今回傍聴席をかさ上げして見やすくなりました。



議場全体が見えやすくなりました

9月議会的一般質問は

9月18日(土曜日)

を予定しています。
終了後、傍聴の方との意見交換会
も開催予定です。

請願・意見書

2件を全会一致で可決

米価の下落に歯止めをかけ、再生産できる米価の実現を求める請願

請願者：みのう農民組合

委員長

紹介議員：平山賢治

米価下落に歯止めがかからず、米流通が深刻な停滞をきたしている。こうした中で政府は「戸別所得補償モデル事業」を打ち出しているが、最大の懸念は米価の下落に歯止めがかかっていないことである。

政府が米の需給と価格の安定に責任を持たないもとの所得補償の実施は、補填を見越した価格破壊や買い叩きの懸念も広がっている。さらに内閣が強く推進しているFTA(自由貿易協定)も価格下落要因となり、戸別所得補償の財源はいずれ破綻するのではないかと不安である。以下の3点を強く要望する。

(1) 補償モデル事業の単価

を、1俵あたりの全算入生産費である16497円相当に引き上げること。
(2) 政権党のマニフェストを踏まえ、みあう量の備蓄米を適正な価格

「デポジット制度」などの導入で循環型社会の再構築を求める意見書

提出者：中村忠徳議員

近年、廃棄物問題が社会問題化し、国もようやくリサイクル法を施行し対策に乗り出している。しかし、リサイクル法に従って懸命にごみ削減に努めても、ごみ処理経費の削減につながらない。ペットボトル容器がその一例を示している。プラスチック類の廃棄物が氾濫する今日、後始末だけが市町村の責任とされる現行法には大いに疑問を抱かざるを得ない。

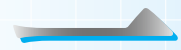
この問題を解決するには、生産の入り口に軸を戻し、ごみにしない仕組みを目指すほか、よって、政府に対し、「拡大生産者責任」および「デポジット制度」を導入し、ごみ処理経費のあり方を今いちど見直して、循環型社会を再構築することを強く要望する。

水準で買入れれること。
(3) 政府公約を守り、需要のないミニマムアクセス米などの輸入を削減すること。

全会一致で採択され、意見書を関係大臣に送付した。

全会一致で可決され、意見書を関係大臣に送付した。

を政問 町問



一般質問

久留米市との連携はどうか



山内 剛 議員

また、期待度と経済効果は。

経済効果が見込まれる

町長 定住自立圏構想推進のため、国の主な財政支援措置としては、中心市周辺市町の取り組みに関する包括的な財政措置があり、各種事業を推進することにより、本町も一定の経済効果が見込まれる。今後とも安心して暮らせる、魅力ある社会環境の形成を目指す。

議員 久留米広域定住自立圏とは、地方圏で暮らす住民が安心して住めるように、久留米が核として（全体6市町）本町と1対1の協定を結び、医療福祉や教育などの機能を定住自立圏で共有し、お互いに役割分担し、効果的に連携できる圏域を作ることである。しかしこの制度では中心市の機能強化に力点が置かれる心配がある。他の市町への利益分配がどうか。

菊池にバス運行を

議員 菊池校区より重点地区を循環するコミュニティバス運行はできないか。

町の主な行事は役場周辺で行われ、菊池からはとても遠いので、毎日ではなく、1週間に2回とか検討してもらいたい。

地域の要望を聞き検討

町内の交通手段について、町民の皆さんにアンケートをとるべきでは。

町長 現在各校区で進めている地域づくりにおいて、地域が主体となつて、あるいは、地域が町と協同して福祉バスを運行す



大刀洗公園の有効活用を

大刀洗公園の指定は

る提案があった場合は、必要な支援について検討したい。アンケートについては、各地域で検討していただいで、その結果を見て考えたい。

議員 大刀洗公園を都市公園にするための検討はされたのか。認定された場合、遊具施設などが壊れても国庫補助がくる。また、地方交付税の対象にもなるが、検討するべきでは。公園の活性化のために、じゃぶじゃぶ池まで流れてきている水路を整備して、生態系が育つような環境はできないか。

可能だと考える

町長 大刀洗公園を町の公告により、都市公園法に基づく都市公園とすることは可能であると考えている。メリット・デメリットを考え、地域の皆様の意見を伺いながら検討したい。じゃぶじゃぶ池付近にホタルの生息地を設置してはどうかという考えを持っているが、ホタルは水質、水温などの河川生態にデリケートな生物であり、地域の皆様の意見を伺い、具体的に協議検討する。

薬物乱用の防止のために



山田英敏 議員

議員 福岡県の少年非行は6年連続ワースト1位、昨年度から3位という高水準にある。小郡警察署管内ではシンナー・覚せい剤乱用での検挙・補導はないと聞いているが、インターネットを通して薬物の購入が可能でいつ何時大刀洗に薬物乱用が蔓延するかもしれない。そういうことを防ぐためにどのような薬物乱用防止教育を行っているか。

防止教育を実施

教育長 非行防止教育の取組みとして①万引き防止、②占有離脱物横領防止、③薬物乱用防止、④

性の逸脱行為防止、⑤ネットによる誹謗中傷・いじめ防止等をテーマとして実施している。場合により県警少年サポートセンターの薬物乱用防止教室と連携する取組みを行っている。中学校では、毎年11月に3年生を対象に外部講師を招聘し薬物防止教育を実施している。今後とも関係機関との連携を図りたい。



耕作地と耕作放棄地（奥）

議員 薬物教育は大人への啓蒙も必要ではないか。今後は研修、講演の中に町民を含めた大人の参加を勧めるようお願いしたい。

耕作放棄地の活用を

議員 耕作放棄地再生利用の政策として、国の緊急対策が21年から25年まで施行される。これは食糧供給力の確保、国土保全、水源涵養等の農業の有する多面的な機能を発揮する観点から重要な課題となっている。また、

地域住民の生活環境面にも悪影響を及ぼす大きな問題となっている。大刀洗町内には耕作放棄地を再利用したいという農業者がいるので、町として地域協議会を立上げるなど、積極的に対策を推進すべきではないか。

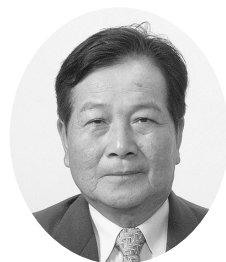
解消を図りたい

町長 町の耕作放棄地は20年度調査時、20.7ha。このうち回復不可能な10.3haについて非農地の認定を行った。回復可能な農地は10.4haあり未整備地区にあり耕作条件が悪い等で放置されていると考えられるが、耕作放棄地の解消を図っていききたい。

議員 具体的には耕作放棄地再生利用交付金、耕作放棄地再生利用推進交付金の2つの交付金がある。福岡県では協議会が立ち上げられ、交付金申請の準備がすめられているが、各市町村が地域協議会を設立しなければ交付金の申請が出来ない仕組みであり、大刀洗町では地域協議会がまだ設立されていない。町としては是非早急な立ち上げをしていただき、また、今後国県からの助成、あるいは補助金等の交付金があるものは積極的に取り

組んでいただきたい。

女性の検診へ手厚く補助を



古賀正巳 議員

議員 本町は妊婦検診への助成回数が少ないと指摘をうけ、助成を2年から14回分に引き上げたが、今の受診状況はどうか。

また、今問題となっているATL、成人T細胞白血病などのウイルス検査については、大刀洗町では助成していないようだが、町として今後どう対応・指導していくか。麻生知事も以前はあまり熱心でない印象があったが、現在は力を入れていくようだが。

国・県と連携し対策

町長 妊婦検診については、21年度は母子手帳交付は159件あり、ほぼ全ての妊婦さんが受診している。

成人T細胞白血病の感染力予防対策で重要とされている妊婦抗体検査については、麻生知事が6月議会で「市町村や医療機関と連携しながら効果的な対応をする」と答弁している。町として単独で助成をすることは現在考えていないが、こうした県や国の動向をふまえて対応していく。職員研修などもすすめる。

また、小郡三井医師会に確認したところ、すでに受診した妊婦さんには



小郡市はバスを運行している

ATL検査を自己負担で実施し、陽性妊婦の指導や管理もきちんと整っているとのことである。今後とも医師会との連携を密にし、妊婦の不安をなくし、正しい知識普及を図りたい。

ミニバスの運行は

議員 公共のバスの運行が廃止され町内は交通空白地帯となった。高齢者、学生、障害者の人々も困っている。第4次総合計画でミニバスの運行が記されている。本町は緑豊かで歴史の町でもある。歴史施設とミニバスの組

合せて歴史の町のアピールを行い、町単独で無理であれば近隣市町村とのネットワークでの運行はできないか。

重要と考える

町長 大刀洗町はバス路線空白地となり町民は不便である。ミニバスの運行は障害者、学生、高齢者には魅力である。まちづくりや他市町村とのネットワークの強化が重要であると思う。

二学期制の見直しは



花等順子 議員

を作成した。

①二学期制のメリット

授業時数が10〜12時間増加する。評価が3回から2回となり子どもも先生もゆとりができ、継続して学習や指導に取り組める。学期の途中に長期休業が入り、子どもに目的を持たせ、長期休暇を意義あるものにできる。

デメリット

評価期間が長くなるた

め、子どもの学習意欲や気持ちの切りかえに問題がある。

②保護者の受け止め方

二学期制支持13.6%、三学期制にもどす30.7%、どちらでもよい55.1%。いずれにせよ個人懇談を含めた丁寧な評価や指導を期待する。

③教員の受け止め方

二学期制支持13.1%、三学期制にもどす53.6%、どちらでもよい33.3%。中学校において二学期制支持教員は0%で、学力向上や高校入試を考慮すると三学期制にもどす方がよい

との意見が多数を占めた。

④今後のあり方

23年度から新学習指導要領になり、基礎学力を育むための教育改善、評価のあり方等を考慮すると、教育委員会としては、二学期制より三学期制の方がよりふさわしいと考える。

- ① 二学期制のメリットとデメリット
- ② 保護者の受け止め方
- ③ 教員の受け止め方
- ④ 今後のあり方

三学期の方がふさわしい

教育長 各学校から報告された二学期制の成果と課題に基づきアンケート



学校はどう変化するか

三学期制にもどした場合、授業時数確保のための工夫。夏期休業中の出校日の設定。指導や評価のあり方など、校長会、教頭会、教務主任会に検討してもらって、小郡三井校長会を中心とした研究体制の中で検討を進める。保護者の中には、制度が変わることへの不満や不安もあり、これからは、PTA役員や保護者に文書を出すなどによって説明を丁寧に行う。チルドレンファーストの理念のもと、教育施策を積極的に推進する。

※このほか、6月は食育月間にちなみ食育に関する質問をした。

5年前の「行革」は見直しを



平山賢治 議員

議員 5年前に実施された町の「行政改革」では、ゴミ袋の値上げ、施設の利用料値上げ、団体補助金の一律削減など、安易に住民に負担を押し付けたものが多い。当時とは

国政の状況も変化しているし、最終年の今年こそ行革を厳しく総括して負担の見直しを図るべきではないか。
特に負担増による悪影響、デメリットを洗い出して検討すべきと思うがどうか。

個別に検討する

町長 行革大綱をもとに、保育所の民営化、給食の

嘱託化、窓口業務の改善、役場定員・給与の適正化などに取り組んできた。この結果、20、21年度は基金の取り崩しなしに財政運営ができています。今後も財政の健全化と福祉

向上の観点から、住民負担については個別に検討し、必要であれば見直しをいきたいと思います。

議員 行革プランには「行革推進本部による進管理」と「全庁体制での進管理」を行うと明記されているが、実際には行われていないのではないか。だからやりっ放しになっているし総括もできていない。管理体制を再構築してほしい。

子どもの医療費助成を

議員 子どもの医療費については、福岡県も20年

度に小学校入学までの原則無料化を実施している。県内でも窓口負担をなくす自治体が多い。さらに、全国的には小学校卒業、

中学校卒業まで無料化を拡充している自治体もある。子育て支援、健康増進の両面から、町として拡充の検討は。

また、保育料の引き下げなどを実施しているが、子育ての面で町の優れた部分を内外にどう宣伝していくか。

現時点では考えない

町長 現時点では他に優先すべき事業があると思ふので無料化の拡充は考えていないが、働く世代の負担や少子化問題の解決のため、総合的な子育て支援策はどうあるべきか今後検討したい。

PRについては、まず保護者や保育士に対しての保育料の説明、対外的にはパンフレットをスパー、小児科、近隣市町村の子育てセンターなど

に配布する、ホームページでの宣伝強化など、子育てしやすい大刀洗町を広くアピールしたい。

地域づくり体制は

議員 町づくり事業について、担当職員を9名配置し、予算化もしているが事業を推進するための制度づくりが遅れているのではないか。町の説明会も「町に金がない」という話ばかりで具体化が見えない。合理的な組織づくりを。

具体化している

町長 各校区センターの管理運営委員会や、それに代わる組織において改正がなされている。今後町が一方的に考えを押し付けるのではなく、地域のことは地域の人々が十分に議論できるような体制づくりに取り組みたい。

熊本県甲佐町から 議会広報委員会を視察

7月5日、熊本県甲佐町議会の広報委員会が大刀洗町議会に調査に来町されました。甲佐町は人口が11000人と、大刀洗町とはほぼ同規模の自治体であり、議会だよりの発行について意見を交換しました。

甲佐町でも、より分かりやすく住民の方に読んでいただけるような議会だよりを目指し頑張っており、取り組みが素晴らしいです。特に一般質問の記事の書き方、見出しのつけ方、住民参加型の紙面の工夫などについて活発に意見交換がございました。



フォトニュース



第18回ひばりカップ少年剣道大会(8月1日)



大堰校区 夏祭り「お田植え踊り」(8月7日)

議会を傍聴しませんか

9月議会
9月8日~22日
一般質問は
9月18日(土)
(いずれも予定です)

どなたでも自由に傍聴
できます。

お問い合わせ
議会事務局 77-4112

表紙撮影: 棚町 良真 (大刀洗文化協会写真部)

町民の 声

町づくりの ボランティア

北山隈 小笹 清さん



大刀洗町にお世話にな
って41年になります。転
入の理由は、工場の建設
に携わるために関西から
転勤してきたことでした。

工場の立上げ後も、2
期3期と増設の日々で大
変でした。また増設のた
びに新型の機械が導入さ
れ、そのつど国家資格が
必要でした。そのため、
家と工場の行き来ばかり
で、地域の人と接する機
会がありませんでした。
平成11年に定年退職し、
何か地域のお役に立つこ

とがあればと考えていた
ところに民生児童委員の
話が来ました。しかし、
地域の事情を知らず、福
祉の知識もないのですか
ら大役を引き受けるか大
変悩みました。
仕事は幼児・高齢者・
福祉・学校関係や、それ
に付帯するさまざまなボ
ランティアなど幅広い活
動でした。
現在は、豊かな町づく
りに取り組み、「更生保護
振興会」にて活動してい
ます。近ごろよく耳にし
るのは法務省による「社

会を明るくする運動」で
す。全ての国民(地域住
民)が、犯罪や非行の防
止と罪を犯した人達の更
生について、理解を深め、
それぞれの立場で力を合
わせ、犯罪や非行のない
明るく住みよい町を作る
ことです。大刀洗町内に
ものぼり旗が立っていま
す。犯罪や非行が生まれ
るのは地域です。また更
生を促す場も地域社会で
す。地域環境によつて良
くも悪くもなるというこ
とです。犯罪のない、明
るく住み良い町づくりに
はボランティア活動が大
切な役目です。誰でもが

参加できる幅広いボラン
ティア活動で、この大刀
洗町に住んで良かったと
言える、豊かな町づくりに
頑張ろうと思っていま
す。
(チョットひとこと)
大刀洗町には、色々な
ボランティア団体が活躍
し素晴らしい実績があり
ますが、役場職員OBの
方の参加者が少ないよう
に思います。専門的な知
識をもった人が参加され
ることで、ボランティア
活動は、いっそう充実さ
れると思います。

編集

後記

休日議会、傍聴者との
意見交換会と、開かれた
議会を目指して取り組ん
ではいるものの、議会と
町民との距離はあまり変
化がないように感じます。
全国的に、議会のある
べき姿を示す議会基本条
例の制定がなされてきて
います。地方分権と言わ
れる時代、議会と議員の
役割、責務を明確にし、
信頼される議会、住民と
共にある議会を目指し、
条例制定を議会活性化の
手段の一つとして捉える
時期に来ているように感
じます。
(長野)

議会報発行特別委員会
委員長 平山 賢治
副委員長 多田 時治
委員 花等 順子
委員 古賀 正巳
委員 長野 正巳
議長 平田 一成